

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農工商連携	農・林・水産業
			○	○
			○	◎
			○	◎
			○	◎
ふりがな		すがわ かずゆき		
氏名		須川 一幸		
所属	名称	五ヶ瀬町地域おこし協力隊／(株)地域振興研究所		
	役職	五ヶ瀬ワイナリー(株)経営革新室長／取締役		
連絡	住所	(公開)	〒 882-1202 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字桑野内4847-1 (職場)	
	連絡先	(公開)	E-Mail sugawa[アットマーク]gokase-winery.jp; kazusuga39[アットマーク]gmail.com	
		(公開)	TEL 0982-73-5478	FAX 0982-73-5481
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴	<p>昭和48年3月西南学院大学経済学部経済学科卒業昭和48年4月小松建設工業株式会社入社(中部支店総務課)(昭和52年まで)昭和52年9月小松フォークリフト株式会社入社(輸出業務部、輸出営業部兼課)(昭和57年まで)昭和57年9月株式会社アドコム設立(取締役、イベントプロデューサー)(昭和58年まで)昭和58年11月株式会社コニー設立(イベントプロデューサー)(令和元年まで)平成3年3月株式会社地域振興研究所設立(所長、地域づくりプロデューサー)現在に至る平成12年4月九州保健福祉大学講師(非常勤)(平成15年3月まで)財団法人地域活性化センター地域づくり支援アドバイザー(現在)財団法人電源地域振興センター専門家派遣事業登録専門家(現在)日本商工会議所登録講師(現在)中小企業大学校講師(直方校、人吉校)(～平成18年)財団法人地域活性化センター全国地域リーダー養成塾講師(～2011年度)九州国立博物館交流事業監修アドバイザー・イベントプロデューサー(～2013年3月)財団法人地域活性化センター地域再生実践塾主任講師(～平成18年)熊本県農産物加工推進協議会「熊本県農産物加工食品コンクール」審査委員長(～2012年)独立行政法人中小企業基盤整備機構商業活性化アドバイザー(～2021年3月)独立行政法人中小企業基盤整備機構中心市街地商業活性化アドバイザー(商店街)(～2021年3月)福岡市商店街支援施策等協議会(審査)委員(現在)長崎・雲仙・佐世保アンテナショップ「キトラス」販路拡大コーディネーター(～2013年3月)宮崎県太陽の国地域づくりリーダー養成塾塾長(現在)総務省 地域人材ネット登録・地域力創造アドバイザー(現在)</p> <p>一般社団法人 日本イベント協会 副理事長・九州本部長 (現在) 一般社団法人 日本イベント協会 イベント総合研究所 副所長・首席研究員(現在) 商店街よす相談アドバイザー(要請支援型・訪問支援型)(～2021年3月) 農林水産省 農山漁村活性化支援人材バンク登録(～2017.3) 東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科教授(2013年4月～2017年3月)客員教授(2017年4月～2018年3月) 久留米大学経済学部非常勤講師(2018年4月～2023年3月) 道の駅そよ風パーク支配人代行(2020年10月～2021年9月) 特定非営利活動法人全国街道交流会議理事(2005年8月～現在)五ヶ瀬町地域おこし協力隊・五ヶ瀬ワイナリー(株)経営革新室長(2023年4月～)</p>			
著作・論文等	『都市・企業の周年記念事業企画事例集』(総合ユニコム)イベントレポート『博覧会の実施運営』(インタークロス研究所)『イベント企画の立て方・進め方コース』(日本能率協会)『イベント戦略データファイル』(第一法規出版)『これからのイベント活用コース』(日本マンパワー)『実践経営辞典』実践経営学会編(櫻門書房)『しっかりせんか! 宮崎観光』(毎日新聞宮崎支局)『エコリグットでいこう』(厚生科学研究所)『月刊観光』『E&C展示会情報』『宣伝会議』『まちづくり』『舞たうん』など専門雑誌に多数執筆『都市農村交流による地域づくり——五ヶ瀬の新しい試みの実証研究——』『内発型地域産業おこし』『九州国立博物館のホスピタリティー 博物館のイメージを変えた市民応援団の取り組み』『農泊のホスピタリティー 五ヶ瀬町夕日の里の取り組み』『まちづくりイベントの一考察～太宰府の観光振興に学ぶ～』『南の島を輝かせるプロジェクト』『イベントによる公共施設の利活用の研究』『イベント手法による観光と特産品開発』『南の島々を輝かせるプロジェクト』『地域創生におけるイベントの機能～大分県竹田市「たけた竹灯籠 竹楽」の検証～』『まちづくりイベントの一考察～太宰府の観光振興に学ぶ～』『地域振興イベントの研究』九州地域ブランドフォーラムの実証』			
取組概要	<p>昭和58年から地域に入り、地域資源の調査の現場で「地域の宝物」を再発見する活動を実践してきた。イベントによる地域活性化から入り、商店街振興、観光振興、農業振興、福祉や教育・文化の振興など地域のあらゆる分野の活性化に企画・計画～実施～検証～時代に合った計画に修正～実施～検証と継続的に地域と関わってきた。特に、宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町については、グリーン・ツーリズムによる活性化にはじまり、商店街振興、観光振興、介護福祉計画、長期総合計画と町のすべての分野に関わり、町のシンクタンク的存在としての役割を担ってきた。その後、熊本県の農産物直売施設(道の駅物産館を含む)の立ち上げ、再建、運営指導などを行い、長崎・佐世保・雲仙アンテナショップ「キトラス」の販路拡大コーディネーターや福岡市商店街活力アップ支援事業の手伝い、JA熊本直売所の運営アドバイス、限界集落での高齢者による地域づくり活動支援等を行い、全国的には地域活性化センター「全国地域リーダー養成塾」の講師やNPO法人全国街道交流会議の理事として歴史街道市町村の街道を活かしたまちづくりにも参画している。また、JICAで中央アジアや中南米の行政研修の講師も務める。太宰府市では「米づくり隊」「カンボジアに井戸を掘る会」「東北の酒を飲む会」等地域づくりを地域住民と共に実践している。九州・沖縄地域づくり会議顧問、九州国立博物館を愛する会アドバイザー、博多献道中実行委員、スリートピアプロジェクト実行委員を務める。現在は地域の最大の課題である地域組織再編について地域住民といっしょに進めている。また、中高校生・大学生と一緒に地域課題に対する政策提言を行い、行政と実施まで行っている。道の駅そよ風パーク支配人代行として経営再建・リニューアルオープンの指導を行った。2023年4月から宮崎県五ヶ瀬町地域おこし協力隊として五ヶ瀬ワイナリー(株)経営革新室長に就任し、経営再建と地域づくりの核施設として経営革新を進めている。</p>			
メッセージ	<p>地域活性化のためには、地元の人材の育成が最大の課題であり、地元の歴史・文化を大切に、地域のコミュニティを再生することが鍵です。そのためには、地域に住む方たちの「心の開発」が一番大事ではないでしょうか。日本の地域は全部異なります。先進地をまねるのではなく、独自性を持ち、地域に合った地域活性化策を実践していきたいと思えます。</p>			
関連ホームページ	https://sugawa-tiiki.com		活動エリア	九州圏、全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。
 ※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
 ※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。